

JCI JAPAN TOYP 2020 エントリーシート

氏名*	井熊 基之
フリガナ*	イグマ モトユキ
所属団体*	利根沼田夢大学(とねぬまたゆめだいがく)
活動内容* (200文字以内)	群馬県北部にある利根沼田地域(沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町)の多くは消滅可能性都市に指定されているのに加え、大学や専門学校がない。その地域の中高生が中心となり運営し地域の社会人がサポートを行う市民大学。「利根沼田で叶えたい夢」を持つ若者に同世代の仲間や多様なつながりを提供し、学びを通して地元愛を育み、その夢を見える化していくことで「心躍る持続可能な地域づくり」に繋げる活動をしている。
活動カテゴリー*	<input type="checkbox"/> ビジネス・経済・起業 <input type="checkbox"/> 学術 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 倫理・環境 <input checked="" type="checkbox"/> 青少年育成・世界平和・人権 <input type="checkbox"/> 人道支援・ボランティア <input type="checkbox"/> 科学技術 <input type="checkbox"/> 自己啓発 <input type="checkbox"/> 政治・法律 <input type="checkbox"/> 医療革新 <input type="checkbox"/> その他()
紹介者氏名 紹介者がいる方は記入	六本木勇治
紹介者所属団体	一般社団法人 沼田青年会議所
JCI JAPAN TOYP を どこで知りましたか?*	青年会議所会員からの推薦(青年会議所)・ホームページ・フェイスブック・チラシ・メディア()・その他()
紹介理由 (200文字以内)	大学等の無い地域では高校を卒業するとその多くが否応なく地域外へと移り住んでいく。その若者達が就職や結婚等の人生の転機の際にも地元を選択する人は多くない。その大切な選択の時に地元を選べる環境をつくり活かす為には地元の良いイメージを持つ人が育っている事が必須である。その「地域づくり」は「人づくり」を体現する取り組みを行っているのが夢大学である。全国的にも稀有であり、今後の地域共育のモデルとなる団体であるため。

顔写真*



経歴
(200 文字以内)

【経歴】

利根沼田夢大学理事長(2019年～)
群馬県沼田市出身、日体大卒
2017年:沼田 JC 理事長
2018年:日本 JCJC ブランディング会議副議長
2019年:日本 JC 関東地区群馬ブロック協議会副会長

【団体活動歴】

2017年:沼田 JC 青少年委員会「利根沼田夢大賞」事業実施
2018年:利根沼田ドリブラにて特別発表
2019年:市民大学「利根沼田夢大学」開校

【団体受賞歴】

2020年:上毛新聞社上毛社会賞受賞(団体の部)

活動PR1*
(200 文字以内)

「利根沼田で叶えたい夢」をキーワードに！

地元で自分を成長させる体験をした若者(高校生)が、同じ想いを持つ若者(中学生)を導き、そのサポートを地域ぐるみで行うのが特徴。一年の中で自分自身を見つめ探求していく、それを共有し行動する事で、地域の特徴を活かした若者主体のアクティブラーニングへ繋がっている。夢を持ち、生き生きと暮らす人を地域に増やし利根沼田を「心躍る地域」にすることを目指し活動している。

活動PR2*
(200 文字以内)

「ジモトをもっと好きになる」プログラム！

利根沼田の若者たちの多くは地元が持つ魅力をあまり体験せずに域外へ進学・就職をしていってしまい多くが戻ってくることがない。そこで利根沼田は尾瀬や谷川岳を象徴とする豊かな自然環境やその中で育まれた人財、文化や社会があり、その魅力溢れる地域全体を学び野として各プログラムやプロジェクトを進めることでジモトを知り、ジモトをもっと好きになる人と未来の選択肢を増やしている。

<p>活動PR3 (200文字以内)</p>	<p>2020年度は「夢大×まち映画×SDGs」! 夢大が主体となり利根沼田を舞台にまち映画を制作し、取り組みを国内外へ発信する。プロデューサーは学長で沼田市出身の高校生、出演者は利根沼田で暮らす若者を中心に募集する。SDGsについては群馬県の関連会議で監事を務める高崎商科大学の前田拓生教授監修の基でプロジェクトを進めていく。県内でSDGsを取り入れたまち映画は初めての製作となり、全国的にも珍しい。</p>
<p>SDGsのゴールとターゲット番号及び結びつきの説明</p>	<p>番号の記入(4 質の高い教育をみんなに) (4.7 2030年までに、持続可能な開発と持続可能なライフスタイル、人権、ジェンダー平等、平和と非暴力の文化、グローバル市民、および文化的多様性と文化が持続可能な開発にもたらす貢献の理解などの教育を通じて、すべての学習者が持続可能な開発を推進するための知識とスキルを獲得できるようにする。) 説明(地域や社会の未来をつくっていく若者たちを中心とした人財と自然豊かな利根沼田地域の成長が共にある持続可能な地域共育の環境づくりを推進している。)</p> <p>番号の記入(11 住み続けられるまちづくりを) (11.a 各国・地球規模の開発計画の強化を通じて、経済、社会、環境面における都市部、都市周辺部、および農村部間の良好なつながりを支援する。) 説明(日本最大の流域面積と流域人口約1300万人を持つ利根川の源流域がある利根沼田地域の人と自然の共生を考え流域の持続可能性を高める取り組みを推進している。)</p>

■質問事項(全200文字以内厳守)

<p>質問1* (200文字以内)</p>	<p>活動を始めたきっかけを教えてください 2017年沼田JC青少年育成事業から 利根沼田地域に応援団をつくり、全中学生(約2500名)から「利根沼田で叶えたい夢」を募集・選考し、一年を通して挑戦する心を育む事業「利根沼田夢大賞」を行った。結果、市民の賛同を得て大賞を獲得した1人の夢を参加した中学生達が応援団と協力して実現させ、そこでできた繋がりと各自の成長を実感した。その若者たちが高校生となり再集結し市民大学「利根沼田夢大賞」設立に至った。</p>
<p>質問2* (200文字以内)</p>	<p>この活動を通してどのような未来を実現したいと思っていますか(ビジョン) 「消滅可能性」から「持続可能性」へ 日本の豊かな生活の源である自然豊かな地域がなぜ消滅してしまうのか、それはそこに暮らす人がいなくなってしまうから。その結末を迎えることなく「持続可能な心躍る地域」にしていくには、今までにない視点で若者たちが夢を描ける「選択肢のある地域」をつくっていく必要がある。その若者たちを起点とし、自分たちが暮らし続けたいと思う地域を育み、希望溢れる未来を実現したいと思っている。</p>
<p>質問3* (200文字以内)</p>	<p>未来を実現するために今行っている具体的な活動をお答えください(アクション) 「持続可能な心躍る地域づくり」は「希望づくり」×「人づくり」 「利根沼田で叶えたい夢」を持つ入学生を毎年10名程度募集・選考し、ジモトを学び野とする自己探求プログラムを経験してもらう。一年を通して夢の実現に向け探求を重ね、アクションプランをつくり行動に移し発表する。その中でやり抜く力を身につけたリーダーとなっていく。独自のノウハウやネットワークを活かし利根沼田広域の産官学民連携で事業を推進している。</p>
<p>質問4* (200文字以内)</p>	<p>あなたの行っている活動は社会にどのような影響を与えていますか(インパクト) 「少子高齢化」から「若者を起点とする持続可能性」の議論へ 元気な地域は未来をけん引する若い担い手が育っている。それは近年勢いのある国々も同じである。少子高齢化の問題を解決するにはその真ん中にある若者世代を中心に考える必要がある。</p>

	る。この活動を通じて関わる若者たちがジモトに立ち、心と心で語り合い、世界を行き来する人財となるよう育成できる仕組みをつくり社会貢献できるよう取り組んでいる。
質問5 (200文字以内)	<p>あなたの考えるリーダーシップをお答えください</p> <p>「心と心の対話を大切に」</p> <p>私自身がリーダーシップを発揮する時に、大切にしていることは「目的や方向性を示して、率先垂範していくこと」と「感謝の気持ちと謙虚な姿勢で何事にも取り組むこと」です。この二つのリーダーシップを発揮する時に重要なのが「コミュニケーション」です。コミュニケーションを密に取ること、他者との「信頼関係」が構築されて組織や地域の成長につながると考えます。</p>

■推薦者情報 推薦者がいる場合のみ記入

ブロック名*	群馬ブロック協議会
青年会議所名*	一般社団法人 沼田青年会議所
担当役職*	理事長
担当者氏名*	原澤 史浩
フリガナ*	ハラサワ フミヒロ
推薦理由* (200文字以内)	<p>JC運動は地域により良い変化をもたらすことであり、事業参加者の意識変革が重要です。当時、青少年育成事業に参加した人達が地域を越え、世代を越えて繋がりました。そして、現在は地域や次世代のために主体的に行動して、多くの人達を巻き込みながら活動しています。井熊基之君は、そのきっかけを作り、夢大学の理事長として先頭に立ち活躍しています。(一社)沼田青年会議所としても、全力で支援する事をお誓い申し上げます。</p>